

文化の彩り豊かに

平成18年度北秋田市文化祭

11月3日は文化の日。北秋田市文化祭が3日から5日までの会期で開催されました。今年の文化祭は、演示部門の会場を市文化会館、展示部門を森吉総合スポーツセンターと一本化しての開催。いずれの会場でも、訪れた市民らが芸能発表や展示された作品の観覧で文化の秋を満喫しました。

授与式では、岸部市長から一人ひとりに賞状と記念品がわたされた後、受賞者を代表して戸嶋富雄さんが、「第1回目という節目に賞をいただき受賞者一同感無量。これからも精進を重ね、地域の文化の向上と発展に努めたい」と謝辞を述べられました。

演、会場から大きな拍手を受けていました。また、歌好きな市民が集う「童謡を歌う会」は、伴奏なしで「里の秋」や「七つの子」などの童謡を披露、同じ歌を会場の皆さんと一緒に歌い、ホールが懐かしさあふれる童謡の世界に包まれました。このほか、舞踊や音楽サークルなど24団体が出演、活動の成果を発表しました。

一方、森吉総合スポーツセンターでは、公民館講座やグループ活動などで制作した絵画や写真、パッチワーク、陶芸、切り絵などの作品、小中学生の絵画、書道作品などが展示され、家族連れなどがじっくりと見入っていました。

平成18年度北秋田市芸術文化功労賞と奨励賞の受賞者は次のとおりです。

- 功労賞 戸嶋富雄さん(83) 阿仁水無/金忠一さん(82) 本城字御嶽/新田チマさん(67) 新田目字大野/平田謙一さん(74) 伊勢町
- 奨励賞 成田トシ子さん(61) 今泉字大堤岱/土佐節子さん(55) 栄字中綱

開会式では市芸術文化功労賞・奨励賞の受賞者を表彰

合併当初の昨年、文化祭は産業祭同様旧町ごとに分散して開かれましたが、今年から全市で一本化され、演示部門と展示部門の2会場に統一し、開催されたものです。また4日は、第1回浜辺の歌音楽祭が開催されました。

北秋田市文化会館での開会式では、はじめに平成18年度北秋田市芸術文化功労賞・奨励賞の授与式が行われました。功労賞は、長年にわたり市の芸術文化の振興に貢献された方に、奨励賞は優れた芸術作品などを創作された方などに贈られるもので、功労賞は阿仁水無の戸嶋富雄さんなど4人が、奨励賞は今泉の成田トシ子さんら2名が受賞、いずれも新市となって初めての受賞者となりました。



▲開会式では、市芸術文化功労賞・奨励賞の授与式が行われ、6人の方に賞状と記念品が授与されました

演示部門は2日間の発表で40団体、約5百人が出演

開会式の後、文化会館では演示部門の発表が始まりました。2日間予定されている演示部門のトップを飾ったのは、総勢35人が出演した「鷹巣マンドリンクラブ」。「りんごの歌」や「北の宿から」など3曲を演奏、郷愁を誘うマンドリンの響きがホール一杯に響きわたりました。この後箏曲や日舞、ダンスやバレエ、民謡や大正琴、詩吟など16団体が日頃の練習の成果を披露しました。

また5日は「合川3B体操会」がオープニングを飾りました。15人ほどのメンバーが、音楽に合わせてボールとベルトを補助具に軽やかな体操を実



合川3B体操会



▶鷹巣・森吉・合川鳳扇会



健康太極拳森吉友好会



北欧の杜音楽団



童謡を歌う会



鷹巣フォークダンス協会



▲展示会場全景 (森吉総合スポーツセンター)



▲合川公民館刺し子講座

各団体の発表と、展示された作品の中から一部をご紹介します



▲小学校絵画作品 (大阿仁小ほか)



▶米内沢民謡研究会

